

地域猫活動 手順書



飼い主のいない猫を徐々に減らし、
猫を巡る生活環境の改善を
目指します。

仙台市

「地域猫活動」手順書

1	地域に猫がいたら	P2
2	「地域猫活動」を始めよう ～ 庭に来る猫にエサをあげている方の場合	P3
3	「地域猫活動」を始めよう ～ 町内会が中心となって取り組む場合	P7
4	ケーススタディ	P10
	参考資料	P12

「地域猫活動」手順書 ～猫と共生のススメ～

1.地域に猫がいると

「お腹を空かせた猫がかわいそう」と無責任にエサをあげて、子猫を生ませてはいませんか。「猫が庭を荒らす」とか、「猫が庭で糞尿をする」とか、町内で猫が増えたことで問題になってはいませんか。

このような問題の解決方法として、「地域猫活動」があります。「地域猫活動」とは、地域住民の理解の下、住民やボランティアが飼い主のいない猫に対して、不妊去勢手術やエサやり、トイレの管理等を行うことです。

「地域猫活動」を実施すると、他から流入する猫を防ぐので、新たな猫が地域に増えません。発情に伴う鳴き声や、喧嘩の声に悩まされることもありません。奇しくも、地域猫がいることでネズミの発生を抑制したり、穏やかに生活している猫の姿に癒やされたりすることもあります。

仙台市では、地域で適正な管理を続けることで、飼い主のいない猫を徐々に減らし、猫を巡る生活環境の問題等を解決するため「地域猫活動」を勧めています。猫の存在価値も認めながら、地域猫活動に対する地域の温かい支援もお願いいたします。



2. 「地域猫活動」を始めよう

～ 庭に来る猫にエサをあげている方の場合

庭に来る猫にエサをあげていたら、子猫を連れて来るようになってしまった。そんな経験はありませんか。

最初に庭に来た猫はお腹をすかせてかわいそうに見えました。エサが貰えると分かると猫は毎日やって来ます。また、いつ来るか分からない猫のために、エサを庭に置きっ放しにしていると、他の猫もやってくるようになります。そうして、不妊去勢手術をせずにエサを与えるだけだと、子猫が生まれてしまいます。

ご自身の能力・経済状況に見合った数の猫だけ、きちんと管理をすることが大切です。これ以上かわいそうな猫を増やさないために、是非、「地域猫活動」に取り組んではいかがでしょうか。

以下の手順を参考にしてみてください。

(1) 世話をする猫を明らかにする

どんな猫が庭に来ているのか、把握していますか。まず、どの猫の世話をしたいのか、はっきりさせましょう。

- 毛色は?… 白黒・三毛・キジ・茶トラ等
- 雌雄は?… 不妊去勢などはされていないか、耳カットはあるか等
- 大きさは?… 大・中・小
- その他の特徴は?… 尻尾の長短、カギ尻尾等
- 特徴の分かる写真を撮る… のちの広報に有効となります。

(2) エサの時間や場所を決める

エサを置きっ放しにしていると他の猫だけでなく、ハエやネズミ、カラス、ハクビシン等も来る様になってしまいます。食べ残しは速やかに片付けましょう。

- 同じ時間、同じ場所で与える。
- 世話をすると決めた猫以外にはエサを与えない。
- エサを与える場所は基本、ご自宅の敷地とする。(他人の敷地をエサ場にする場合は、土地の管理者の許可が必要。)
- 決めた時間に来ない猫がいても、決めた時間に来た猫が十分に食べたと思われるたら、エサは片付け、周辺の清掃を行う。時間に来ない猫がエサを食べられなくても、大抵、エサ場を複数持っているので餓死することはない。

(3) トイレを設置する

地域で猫が悪者になる一番の理由は糞尿問題です。食べれば出るもの、トイレを準備しましょう。猫がトイレを利用するようになれば、世話も楽になり、もちろん苦情も減ります。

- エサ場の近くに置く場所を決める。(他人の敷地をエサ場にする場合は、土地の管理者の許可が必要。)
- トイレの形状は何でも良い。例えば発泡スチロール製、育苗箱、プランター、大きめの石で囲っただけでも認識する。([NPOねこだすけ]より資料1)
- 猫が掘り返しやすいように、トイレに決めた場所の土をほぐしておく。(トイレと認識されるまで、市販の砂(粒の小さいもの)を使用することも有効。)
- 掃除の頻度は、エサをあげるタイミングが望ましい。(エサを食べた後にすぐ排泄をする場合があるので、エサをあげた後に排泄するのを待ち、したらずぐに片付けるのが望ましい。それが難しい場合は、エサを食べ終わるまでの時間に掃除をする。)
- 出来れば被害を受けている方の庭から、糞と尿の臭いの付いた土を提供してもらい、トイレに置く。(トイレの設置と同時に元々の被害場所に消臭剤(資料6)を撒くなど被害防止策を講じる。)



このように、石で囲っただけでも、充分トイレとなります。

(4) 不妊去勢手術を実施する

猫は交尾をするとほぼ100%の確率で妊娠します。猫を増やさないためには、不妊去勢手術をするしかありません。外の猫の寿命は5年程度と言われているので、子猫さえ生まれなければ、徐々に減少します。次ページの方法を参考に手術を確実に行ってください。もし、お手伝いが必要な場合は、動物管理センターにご相談ください。ケージや捕獲器の貸し出しや、経験豊富なボランティアの紹介を行います。

また、保護の前に、手術を依頼する動物病院に連絡してください。通常、動物病院で手術をするためには予約が必要です。公益社団法人仙台市獣医師会の指定病院ですと、手術費用の助成が受けられます。(雄:4,500円、雌9,000円)
(問い合わせ先:公益社団法人仙台市獣医師会 TEL 022-387-5225)

○保護方法

- (ア)触れるのであれば、そのまま保護する。(抱き上げる際に暴れることもあるので、大判のタオルで包むと良い。)
- (イ)近くに寄る事はできるが、警戒する場合は、折り畳み式ケージを使ってエサを与える時に慣らして保護する。(将来、人に慣らして飼いたい、新しい飼い主を探したいとお考えの場合は、比較的、猫への衝撃の少ないケージを使っての保護をおすすめします。)
- (ウ)エサを置いて、人がいなくなると食べに現れない場合や、発情期に近い雌猫は捕獲器を使って保護する。

【折り畳み式ケージを使って保護する方法】(資料2)

- ①折り畳み式ケージの中でエサを与えケージに慣らす。この時、ドアは固定して、動かないようにしておく。(ケージに入って食べない場合は、初めに入り口に置いて、慣れてきたら徐々に奥に置く。ケージの中でエサを食べている最中に人が周りを歩いても気にしなくなるまで続ける。)
- ②充分慣れたら、缶詰の様な嗜好性の高いエサを多めに入れ、夢中で食べている時に扉を閉める。(扉に紐をつけて、遠隔操作で閉じるようにしても良い。)

【捕獲器を使って保護する方法】(資料3)

- ①捕獲器を仕掛ける場所を確保する。(基本は自宅敷地内とする。どうしても自宅でできない場合は、エサを与えている場所の近くで、設置の了解を受けた場所を確保する。)
- ②捕獲器を新聞紙や黒いビニールで覆う。
- ③前日はエサを抜き、捕獲器の中にフード缶詰の様な嗜好性の高いエサを入れてセットする。(入り口までの道筋をマタタビや液状おやつなどで誘導する。)

(5) 広報する

あなたがお世話している猫を、地域の方に知らせましょう。あなたがどんな活動をしているのか、活動の結果として「猫による被害を減らす対策」としての活動である事を知ってもらいましょう。この活動は地域の理解がなければ「地域猫活動」とは言えません。後々、トラブルの発生を回避するために、チラシを作成して町内会や近所に情報提供(挨拶)しましょう。活動内容を広報することにより、これまで猫のことを心配していた人などが、協力者になる場合もあります。

〈広報の例〉(資料4)

- どんな猫を世話しているのか。(ここで猫の写真が有効。)
- 被害を受けた方へは真摯に対応。(庭や周辺の清掃を行う。)
- 「猫が庭に入らない方法」チラシや「人と猫との共生に関する条例」チラシを一緒に渡す。(仙台市が地域猫活動を支援していることをお知らせする。)



3. 「地域猫活動」を始めよう

～ 町内会が中心となって取り組む場合

エサをあげている人がわからない時やエサをあげている人に任せられない場合は、町内会で取り組む事もできます。最初の1頭が子供を産む前に取り組めば、労力も最小限で済みます。町内会で「地域猫活動」に取り組むつもりはあるが、やり方がわからないといった場合は、動物管理センターがお手伝いします。職員が話し合いに参加して、方向性や具体的な方法について助言するほか、ノウハウを伝授するために経験豊富なボランティアを紹介したりすることも可能です。

以下の手順については、町内会で取り組む手順についての例になります。地域に合った方法で取り組んでください。わからない場合や悩まれた時は、動物管理センターにご相談ください。

(1) 情報収集する

地域の状況を把握します。猫の飼育状況や、野外で生活する猫の数、苦情の発生の有無、エサをあげている人の有無や協力の可能性について、事前に把握してください。

(2) 広報する

町内で「地域猫活動」に取り組む事を住民に知ってもらいましょう。回覧はもちろんですが、場合によっては個別訪問、ポスティングも検討しましょう。チラシ案の作成等、ご相談ください。

また、手伝ってくれる方も募集しましょう。エサやり、片づけ、猫トイレの設置・管理、地域の清掃、猫の保護、動物病院への搬送等、できる事を手伝ってくれる方を募集しましょう。活動が始まったら、定期的に「地域猫活動」の経過報告を行いましょう。

〈広報の例〉(資料5)

- 活動の必要性
- 地域の皆さんにお願いしたいこと
- 活動における将来像・目標像
- 手術をする予定の猫(ここで猫の写真が有効)

(2回目以降追加したい項目)

- 経過報告・会計報告
- 「猫が庭に入らない方法」チラシや「人と猫との共生に関する条例」チラシの配布。(仙台市が地域猫活動を支援していることをお知らせする。)

(3) 不妊去勢手術を実施する

猫は交尾をするとほぼ100%の確率で妊娠します。猫を増やさないためには、不妊去勢手術をするしかありません。外の猫の寿命は5年程度と言われていいますので、子猫さえ生まれなければ、徐々に減少します。以下の方法を参考に手術を確実に行ってください。もし、お手伝いが必要な場合は、動物管理センターにご相談ください。ケージや捕獲器の貸し出しや、経験豊富なボランティアの紹介を行います。

また、保護の前に、手術を依頼する動物病院に連絡してください。通常、動物病院で手術をするためには予約が必要です。公益社団法人仙台市獣医師会の指定病院ですと、手術費用の助成が受けられます。(雄:4,500円、雌9,000円)
(問い合わせ先:公益社団法人仙台市獣医師会 TEL 022-387-5225)

○保護方法

【折り畳み式ケージを使って保護する方法】(資料2)

- ①折り畳み式ケージを設置する場所を確保する。折り畳み式ケージの中でエサを与えケージに慣らす。この時、ドアは固定して、動かないようにしておく。(ケージに入って食べない場合は、初めに入り口に置いて、慣れてきたら徐々に奥に置く。ケージの中でエサを食べている最中に人が周りを歩いても気にしなくなるまで続ける。)
- ②充分慣れたら、フード缶詰の様な嗜好性の高いエサを多めに入れ、夢中で食べている時に扉を閉める。(扉に紐をつけて、遠隔操作で閉じるようにしても良い。)

【捕獲器を使って保護する方法】(資料3)

- ①捕獲器を仕掛ける場所を確保する。(エサを与えている場所の近くで、設置の了解を受けた場所を確保する。)
- ②捕獲器を新聞紙や黒いビニールで覆う。
- ③前日はエサを抜き、捕獲器の中にフード缶詰の様な嗜好性の高いエサを入れてセットする。(入り口までの道筋をマタタビや液状おやつなどで誘導する。)

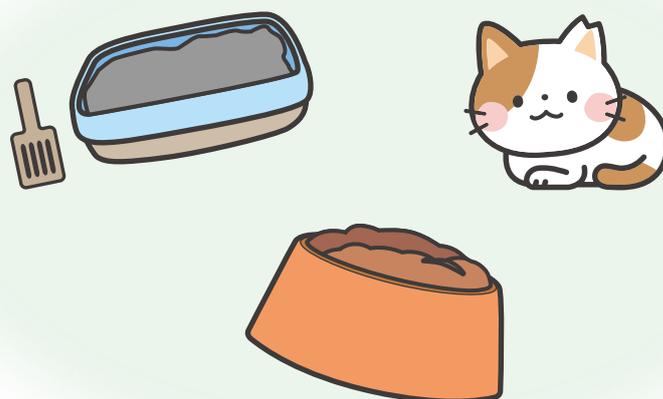
(4) 町内会の特徴にあった「地域猫活動」のルールを決めます

- 世話する猫を明確にする。
- エサを与える場所と時間を決める。
- トイレを設置する。

トイレは、被害を受けている家の近くに置きます。その庭から、糞と尿の臭いの付いた土を提供してもらい、トイレに置く。(トイレの設置と同時に元々の被害場所に消臭剤(資料6)を撒くなど被害防止策を講じる。)トイレの清掃を定期的に行う。([NPOねこだすけ]より資料1)

- 新たな猫が現れたり、猫が捨てられたりしたらどうするか。

その様な猫を見つけたら、町内会で連絡を受け、飼い主がいない猫の場合は、速やかに手術をしましょう。子猫など人慣れしているようなら、新たな飼い主を探すのもいいでしょう。明らかに猫が捨てられた場合、動物の遺棄は犯罪となりますので、交番の巡回を依頼したり、ポスターを掲示したり、再発防止に努めましょう。



4. ケーススタディ

A 団地

<きっかけ>

地域で猫が増えており、何とかしたいとエサやりさんが動物管理センターに相談。

<経過>

町内会は「エサやり禁止」の立場だったが、エサやりさんと町内会が話し合いの場をもち、エサやりさんが活動内容を説明、動物管理センターが地域猫活動の有用性について説明した。エサをあげる場所、トイレ等、人目に付かないところで行うことを条件に「エサやりさん」が手術することや清掃を行うことを認めた。エサやりは有志2名での給餌と掃除を行い、関係ある町内会長にも報告した。約3年で約30頭手術実施、新しい飼い主を探すことも並行して実施。

<結果>

猫が減少した。

B 町内会

<きっかけ>

「飼い主のいない猫」による被害が町内会の総会で問題となった。

<経過>

町内会の役員が動物管理センターに相談する。センターより「地域猫活動」の有用性について説明。役員会で検討した結果、地域猫活動に取り組むことに決定した。動物管理センターより、猫の捕獲をするボランティアを紹介。「飼い主のいない猫」をテーマに町内会でイベント開催し、手術費用の募金を集めた。足りない部分は役員会費を充てた。約1年間で13頭の手術を実施した。

<結果>

町内会からセンターに、町内の猫に関する苦情が減少したと報告があった。

C 公園

<きっかけ>

公園内の糞尿被害が公園管理者に届けられる。

<経過>

公園管理者が動物管理センターに相談する。「地域猫活動」の紹介。不特定多数のエサやりがいると思われ、公園周囲の町内会へ、「地域猫活動」の取り組みについて広報する。飼い猫の室内飼育の啓発と、エサやりへは協力を依頼する内容のチラシとする。回覧終了後、捕獲器で保護、約3年間で29頭の手術を実施した。

<結果>

猫の増加は認められないが、糞尿被害はまだ確認されるため、継続して取り組む。

D 町内会

<きっかけ>

飼い主のいない猫の増加と糞尿被害の苦情が町内会へ寄せられた。

<経過>

町内会長から猫に関する苦情を地域の問題として取り組むため動物管理センターに相談があった。役員会を重ね、動物管理センターと市民センターが協力し、地域住民に向けた地域猫活動に関する説明会を開催した。この説明会に参加した個人ボランティアから、猫の保護や手術のお手伝いをする旨の申し出があった。その後も町内会とセンターが協力して猫を考える講演会を開催するなど、地域住民にご理解頂く活動を行った。手術費用については、バザーや募金などで集め、約4年間で79頭の手術を実施した。

<結果>

猫の問題に対する苦情は減少したが、被害はなくなったわけではなく、「地域猫活動」に対し、理解が得られていない住民も多少はいる。継続して取り組む。

参考資料

資料1	NPO法人ねこだすけより猫トイレ	P13
資料2	【折り畳み式ケージを使って保護する方法】	P14
資料3	【捕獲器を使って保護する方法】	P15
資料4	〈広報の例〉(エサやり)	P16
資料5	〈広報の例〉(町内会)	P17
資料6	「猫が庭に入らない方法」チラシ	P19

資料1：NPO法人ねこだすけより猫トイレ



アイディア次第で
さまざま猫トイレ



町会自治会の地域猫対策
猫トイレ設置中
平成26年7月都内で



資料2：【折り畳み式ケージを使って保護する方法】

【折り畳み式ケージを使って保護する方法】



写真1

(写真1)

ケージに慣れることから始めます。猫の大きさより充分大きいケージの方が入りやすいです。

警戒しない猫もいるかもしれませんが、入り口にエサを置いて、液体おやつで誘導します。慣らしている間はドアが閉まらないよう、固定してください。



写真2

(写真2)

ケージの周りを人が歩いて、動揺しないようなら、食べている最中にドアを閉める準備をします。

写真では、入り口にエサ皿がありますが、実際は一番奥に入れてください。ケージの周りを歩いて、猫が気にしないなら、そのままドアを閉めてください。

少しでも気にするようなら、遠隔操作でドアを閉めることをお勧めします。

ひもを通した状態でも、念の為、慣らしてください。

いざ、ドアを閉める場合は、いつもより、嗜好性の高いエサを多めに入れてください。

(写真3)

ケージの奥にエサを多めにおいてください。



写真3

(写真4)

ケージの後ろ半分に目隠しをしたほうが、入りやすい場合もあります。



写真4

ドアを閉めて保護出来たら、ケージをすべて古シートなどで隠してください。猫が暴れる場合があります。

資料3：【捕獲器を使って保護する方法】

【捕獲器を使って保護する方法】

定期的に、エサを食べに来るようになったら、病院と手術日程について相談して、捕獲器を設置する日を決めます。

写真1



(写真1)

踏み込み式捕獲器をセットした状態です。入り口(赤丸)と反対側に踏み込み板(黄丸)があり、踏み込み板を踏むと入り口が閉まります。

(写真2-1~2)

踏み込み板が隠れるように、新聞紙等を敷いた上で使用します。踏み込み板の奥に、嗜好性の高いエサを多めに入れてください。猫が奥まで入りやすいように液体おやつで誘導します。

写真2-1



写真2-2



(写真3)

実際に仕掛ける捕獲器の全体像です。

(写真4)

捕獲器に目的等を掲示してください。

写真3



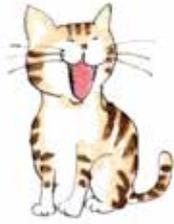
写真4

不妊去勢手術のために猫を保護するために仕掛けています。お手を触れないでください。
連絡先: 〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇(実施者名)

(写真4)

他の猫が見て、学習することがないように、捕獲器は全体を見えないように隠してください。

猫が入って保護出来たら、捕獲器をすべて古シートなどで隠してください。猫が暴れる場合があります。



近隣の皆様へ

“飼い主のいない猫”による『迷惑行為』をこれ以上増やさない取り組みを行っています。

猫が迷惑な方も、猫の世話をする方も、飼い主のいない猫が増えることを望みません。皆さんの御理解が得られれば、「地域猫活動」として、もう一步、前に進めます。



『地域猫活動』とは…

1. これ以上増えないように不妊去勢手術をする。
2. トイレの設置やエサの後片付けなどをする。
3. 近隣地域の皆さまのご理解とご協力を得られるようにする。

現在、私が世話をしている飼い主がいない猫(下の写真)の不妊去勢手術を実施しています。手術が済んでいる猫は耳をカットしております。トイレの設置もしておりますが、お庭で糞尿をされて困っている方はご連絡ください。こちらから清掃に伺います。エサを与える人がいなくなると、ゴミ集積所を荒らしたり悪さをします! ご理解いただけますようお願いいたします。

地域猫活動実施者： _____ 連絡先 _____

地域猫活動はアニパル仙台

(仙台市動物管理センター Tel (258) 1626) も支援しています。

〈私が世話をしている猫たち〉
(左)キジトラ♂(手術済)大
(右)茶トラ ♂(手術済)中





近隣の皆様へ

“飼い主のいない猫”をこれ以上増やさない
取り組みを三者協働で行っています。

飼い主のいない猫の迷惑行為を防ぐため、猫を増やさない取り組み『地域猫活動』を始めました。

猫が迷惑な方も、猫の世話をする方も、飼い主のいない猫が増えることを望みません。

『地域猫活動』とは…

1. これ以上増えないように不妊去勢手術をする。
2. トイレの設置やエサの後片付けなどをする。
3. 近隣地域の皆さまのご理解とご協力を得られるようにする。

現在、猫を飼っている方へお願いです。

『地域猫活動』を進めるにあたって、徘徊している猫が、**飼い主がいないと判断される**※場合、不妊去勢手術の上、耳をカットして放す事になりますので、くれぐれも、外に出さないよう、お願いいたします。

※飼い主の名前と連絡先を明記した首輪や動物病院マイクロチップの装着が確認されなかった場合、飼い主がいない猫と判断し、手術される可能性がありますのでご注意ください。

問合せ先: ○○町内会 Tel (×××) ××××
アニパル仙台 (仙台市動物管理センター) Tel (258) 1626
ボランティア団体猫の会



資料5-裏：〈広報の例〉(町内会)

■ エサやり、片付け、猫トイレの設置・管理、地域の清掃、猫の保護、動物病院への搬送等、できる事を手伝ってくれる方を随時募集しています。

■ 現在、町内にいる猫の写真を添付致します。

こちらの猫 計4匹に関しましては、○月○日(○)以降(1週間以内)に捕獲をし、不妊去勢手術をする予定です。

町内を徘徊している猫が、**飼い主がいないと判断される**※場合、不妊去勢手術の上、耳をカットして放す事になりますので、○月○日以降も、くれぐれも、外に出さないよう、お願いいたします。

1 黒白、雌	2 キジ白、雌
	
3 黒白、雄	4 茶トラ、雌
	

■ 「地域猫活動」を実施すると、他から流入する猫を防ぐので、新たな猫が地域に増えません。発情に伴う鳴き声や、喧嘩の声に悩まされることもありません。仙台市では、かわいそうな猫をこれ以上増やさない、お庭の被害をこれ以上増やさないために、「地域猫活動」をすすめます。町内で「地域猫活動を」実施することで、最終的には「飼い主のいない猫」による「被害」をなくすことを目指しましょう。

猫が庭に入らない方法



猫が庭や花壇・畑に入り込みフンや尿をするのは、**周辺のどの場所よりもお宅が猫にとって快適な場所**だからです。しかし、自分の良いものではありません。だからといって、猫を傷つけたりといった行為は**虐待に当たり、犯罪**です。猫に入られて困る方は、**猫を寄せない次の方法**をお試しください。

設置のポイント
 ＊「散布する・置く場所」としては**猫の通り道・風上等が効果的**といわれています。
 ＊液体のものはスポンジに染み込ませ、空き缶等に入れて**設置すると長持ち**します。



食用酢

食用酢をスポンジや布に染み込ませて通路に置く。
(風上に置く等、場所がポイント)

木酢液

木酢液を散布する空き缶に入れて通路に置く。
(スポンジ等に吸収させると効果が持続します)

漂白剤

塩素系漂白剤(ブリーチ、ハイター等)を希釈して散布する空き缶等に入れて通路に置く。

ナフタリン、樟脳

ナフタリンや樟脳を吊るしたり、埋めたりする。
(吊るす場所がポイント)

コーヒーかす

コーヒーかすを散布する。
(散布する場所がポイント)

どくだみ茶等の茶殻

どくだみ茶等の茶殻を散布する。
(散布する場所がポイント)

お米のとぎ汁

とぎ始めの濃い汁を散布する。
(散布する場所がポイント)

ミカン等柑橘類の皮

ミカン等の柑橘類の皮を撒く。
(散布する場所がポイント)

カレールー粉等 香辛料

カレールー粉等の香辛料を撒く。
(散布する場所がポイント)

正露丸

正露丸を水に浸して、空き缶等に入れて通路に置く。
(掘り返される場所には土の中に埋めてみる)

フェリウェイ

なわばり本能を利用したフェイシャルホルモンで、寄せたくない場所に塗布する。
(塗布する場所がポイント)

ゼラニウム

ゼラニウムの鉢植えを置く。
(葉が真上の近寄りにくくなる)

ハーブ類

レモングラスやルー等のハーブ類を植える。

市販の忌避剤

ペットシヨップやスーパー等で市販している。
(雨の時や長時間は期待できないが、短時間で効果あり)

《裏面に続きます》



猫が庭に入らない方法

大きな石・尖った石

大きめの石を通路に置く、尖った小石を置く。
(通行を困難にし、足元が不快に感じる)

猫避けトゲトゲマット

人工芝の草の部分を荒くして強くしたような敷物。
(足元が不快に感じる)

水を撒く

ホースで水をたっぷり撒く。
(水を嫌うため濡れた場所は敬遠する)

水鉄砲など

できるだけ人の姿を見せないように水をかける。
(通ると濡れる等の自然現象に見せることがポイント)

枯れ枝

枯れ枝を一面に敷く。
(球根や種を守るのに効果あり)

ゴムテープ、両面テープ

ゴムテープを輪(粘着面を外側)にして通路等に置く。
(扉や狭い通路に効果あり)

割り箸

割り箸を通路や花壇などに立てておく。

荷造り用の白い紐

荷造り用の白い紐を蛇行させて庭に置く。
(ハビの嫌に見せる)

遠隔操作ブザー

遠隔操作のブザーを使って、猫が通過する瞬間にブザーを鳴らす。
(人の姿をみせないこと)

センサー感知ブザー

センサー感知のブザーにより、猫が通るとブザーが鳴る。
(防犯用として市販されている)

センサー感知超音波

赤外線センサーにより猫が通ると自動感知し、猫の嫌う特殊超音波を発生させる。
(市販されている)

犬の排泄場所を庭にする

犬に庭で排泄をさせることで、安心できない場所と認識させる。
(犬を飼っている人にお勧め)

古シーツに糞を塗り、唐辛子やコシヨフをかけておく

車のボンネットのような広範囲な場所におすすめ。
(ボンネットに乗った猫を驚かすと爪を出すので、車に傷が付く。ボンネットに乗ってしまったら驚かささないように。)

猫との根競べです。

猫によって効果があるものと無いものがあります。
設置場所を変えするなど いろいろいな方法で
何度もやってみてください。

◎ 多少許せる方はお試しください。

猫のトイレを作る

残っている排泄物と砂を発泡スチロールの箱等に入れ、トイレにみたてると、その場所で排泄するようになる(掘り返せる柔らかい砂や土の場所を好む。大きめの石等で囲むだけでも効果あり)



アオモリ市動物管理センター

(仙台市動物管理センター)
仙台市宮城野区扇町6丁目3番3号 (電話 258-1626)



アニマル仙台



仙台市動物管理センター(アニマル仙台)

〒983-0034 仙台市宮城野区扇町6-3-3 TEL:022-258-1626 FAX:022-258-1815